

三宅島の地殻変動 Crustal Deformations around Miyake Volcano

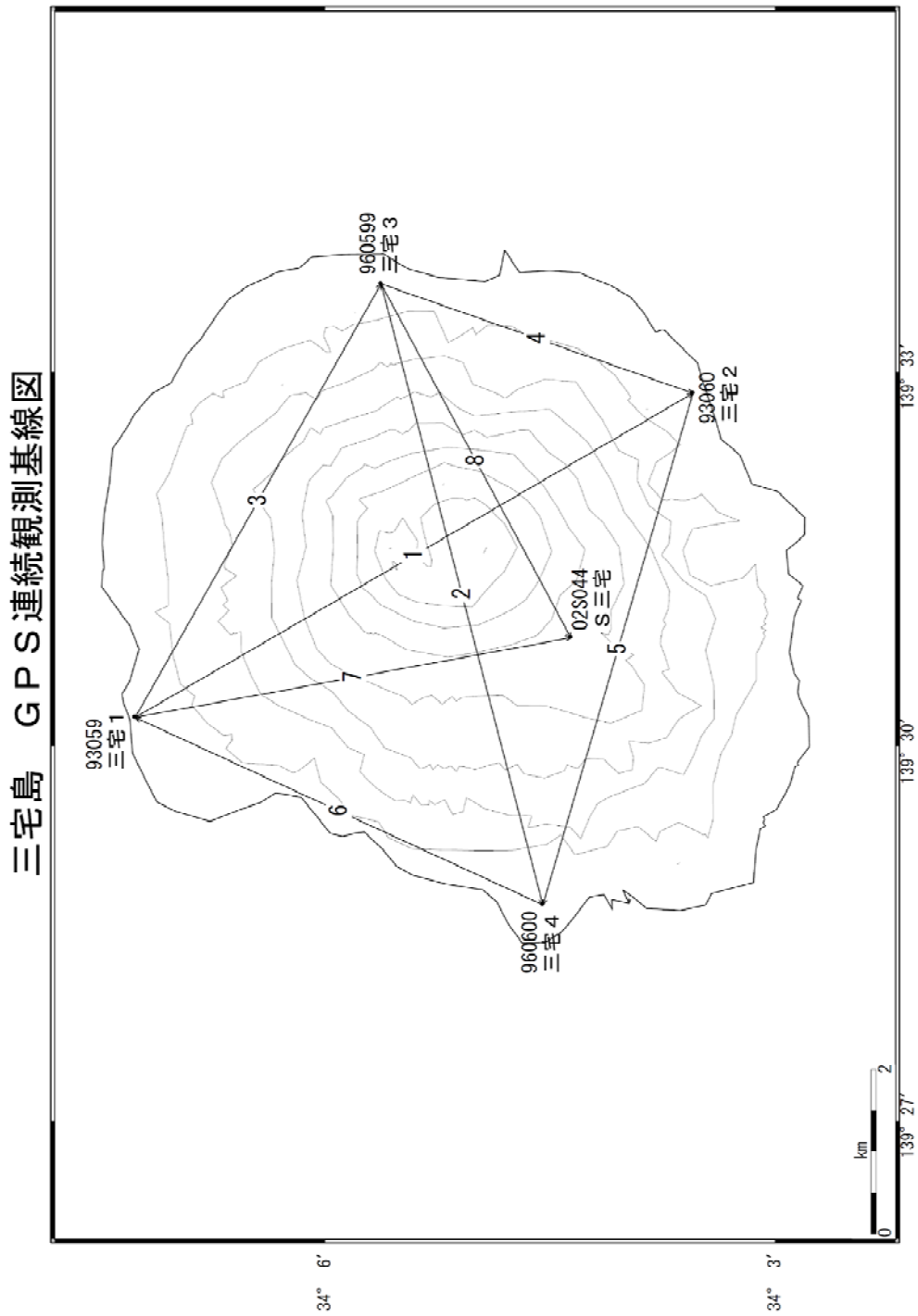
国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

第1図は、三宅島地区におけるGPS連続観測結果である。第1図(a)が観測基線図、第1図(b)は、基線長の変化グラフであり、第1図(c)は比高の変化グラフである。時系列グラフは2001年4月から2009年9月までの期間のものである。山体を挟む東西方向の基線では、2006年からゆるやかな伸びの傾向がみられていたが、2009年1月頃からその傾向は鈍化している。

第2図は、「だいち」PALSARによる三宅島地域のSAR干渉解析結果である。上図は北行軌道(Ascending)で2009年2月1日と2009年8月4日のペア、下図は南行軌道(Descending)で2009年5月5日と2009年8月5日のペアを取った解析結果である。いずれにも火口内での沈下を示すと見られる変動パターンが見られる。

謝辞

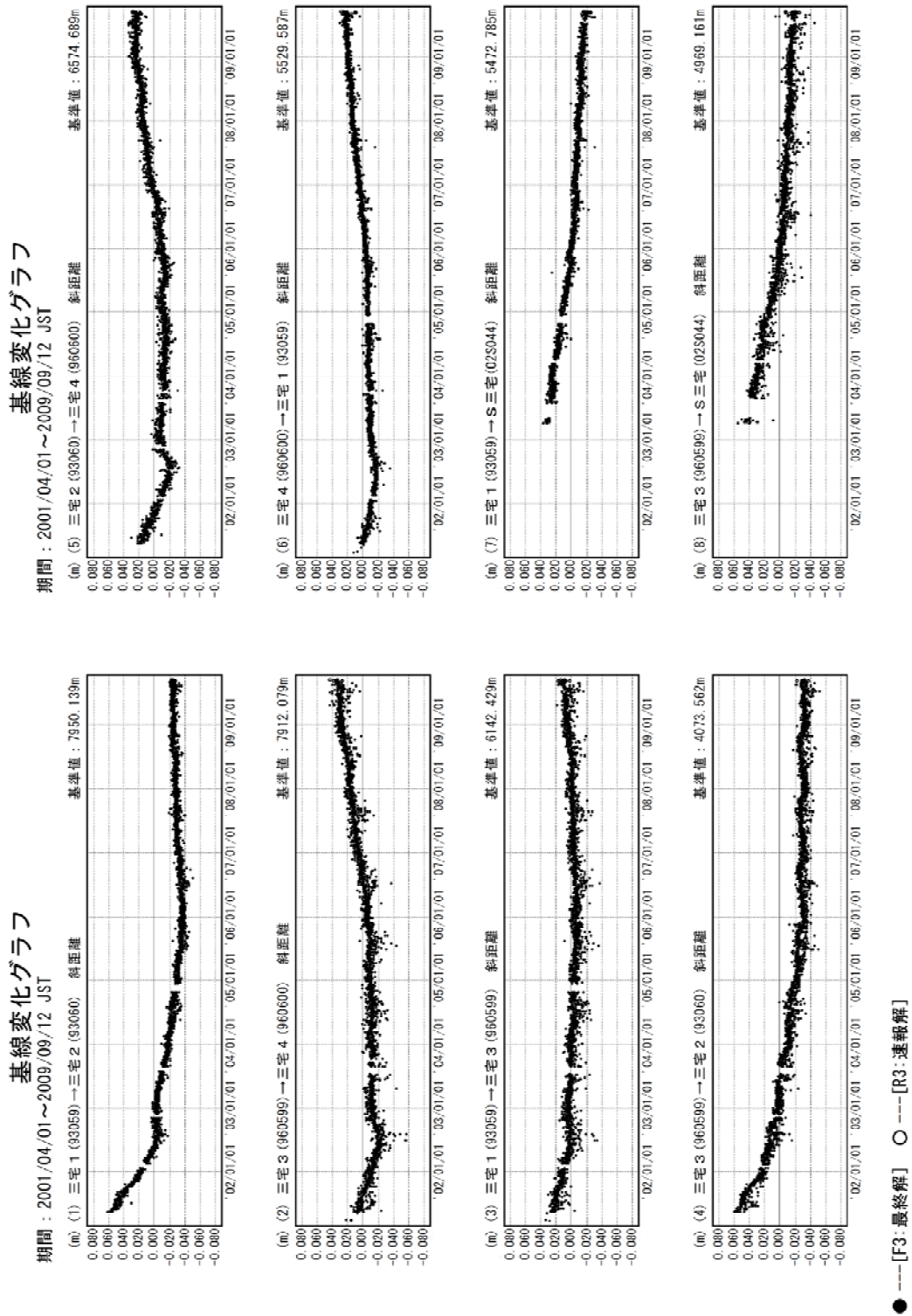
だいち/PALSARデータの所有権は、経済産業省および宇宙航空研究開発機構にあります。またデータは、国土地理院と宇宙航空研究開発機構との共同研究協定に基づいて、提供を受けたものです。この場を借りて、御礼申し上げます。



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 (a) GPS 連続観測点基線図

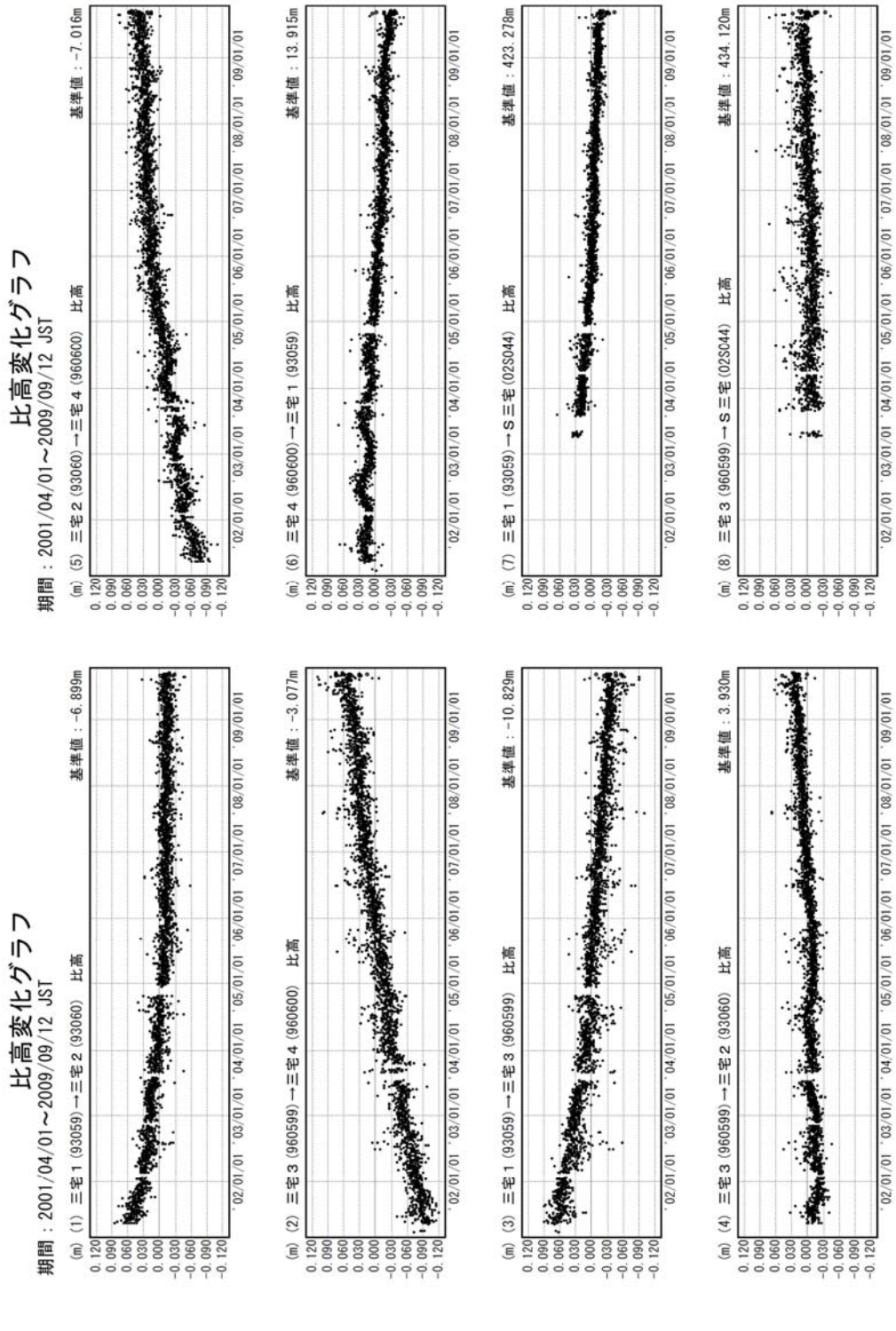
Fig.1(a) Site location map of the GPS continuous observation network around Miyakejima Volcano.



※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 (b) 三宅島のGPS連続観測結果(基線長：2001年4月～2009年9月)

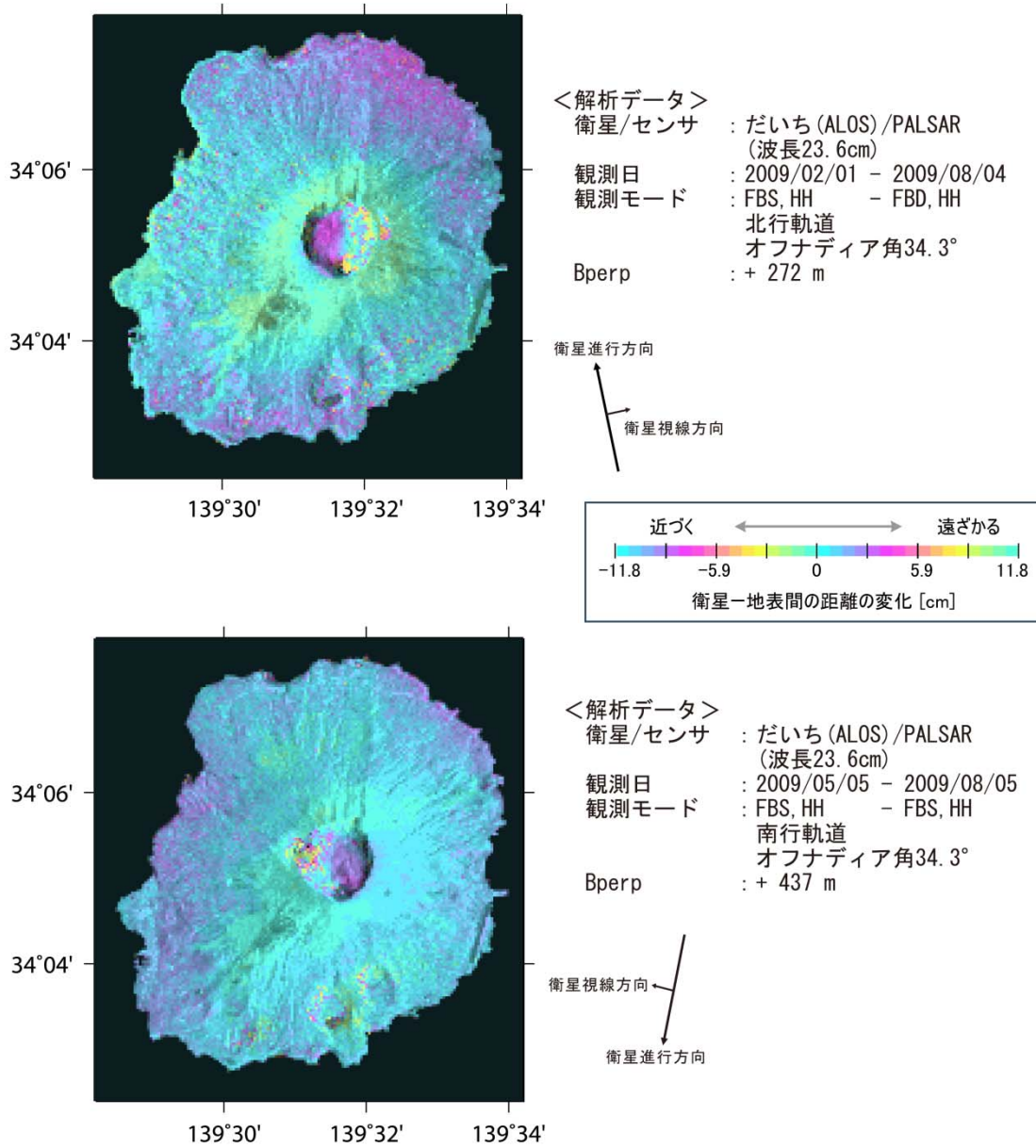
Fig.1 (b) Results of continuous GPS observation around Miyakejima Volcano, Baseline length; from April 2001 to September 2009.



※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図(c) 三宅島のGPS連続観測結果(比高:2001年4月～2009年9月)

Fig.1 (c) Results of continuous GPS observation around Miyakejima Volcano, Relative height; from April 2001 to September 2009.



Analysis by GSI from ALOS raw data of JAXA, METI

第2図 「だいち」 PALSAR による三宅島周辺の解析結果
 Fig.2 Interferometric analysis of SAR acquired by "Daichi" PALSAR on Miyakejima Volcano.